

小規模特別養護老人ホーム 昂

令和4年度事業報告書

1. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

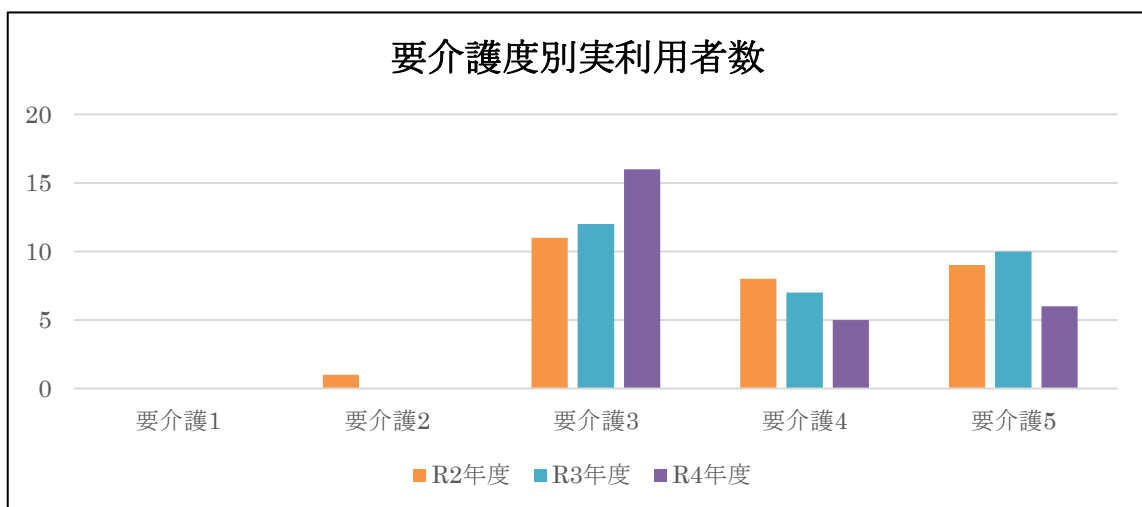
職名 区分	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	1		1	1	19	1	1		27
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)		2	4			2	8
現員計 ②+③=④	1	1	1	1	(1)	1	3	23	1	1	2	35

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、[] 内で記入。

2. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)



*平均介護度 (R2年度 3.60、R3年度 3.62、R4年度 3.75)

(1) 月別入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	0人	1人	1人	1人	3人	0人	1人	2人	1人	2人	0人	1人	13人
退居	0人	0人	3人	1人	0人	0人	1人	1人	2人	1人	1人	0人	10人

	男	女	計
入居者数	5人(1人)	8人(0人)	13人(1人)
退去者数	5人(0人)	5人(0人)	10人(0人)
入居者在籍数	9人(0人)	20人(0人)	29人(0人)

※ () は、短期入所利用者数を示す。

(2) 月別申込み状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1人	5人	4人	0人	0人	2人	2人	1人	2人	3人	3人	1人	24人

(3) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	832人	802人	808人	810人	804人	839人	857人	819人	896人	882人	811人	881人	10,923人
稼働率	95.6%	89.2%	92.8%	91.1%	89.4%	96.4%	95.3%	94.1%	99.6%	98.1%	99.8%	97.9%	94.94%

* 上半期では入院者やご逝去された方がおり満床（稼働率 100%）にすることができなかった。

短期入所の利用から入所に至った方もいたが、入退所に伴う空床期間が短縮できなかったことも要因の一つと考える。

(4) 逝去場所

昂	病院	ご自宅
9人	1人	0人

(5) 年齢層分布

年齢層	女性	男性	合計
63-74歳	0人	1人	1人
75-84歳	3人	1人	4人
85-94歳	11人	6人	17人
95-104歳	6人	1人	7人
合計	20人	9人	29人

(6) 利用者負担軽減状況

負担段階	人数	割合
負担限度 1	0 人	0.00%
負担限度 2	1 人	3.45%
負担限度 3①	2 人	6.9%
負担限度 3②	6 人	20.69%
負担限度 4	20 人	68.96%

* 令和 3 年度より負担限度額の基準の 3 段階が 2 分割へ変更となり、利用者負担額が増加した。

(7) 事故・ヒヤリハット報告

事故報告は転倒・転落事故関連が全体の約 8 割、ヒヤリハット報告では約 4 割を占めた。事故発生時の時間帯は日中、夕方の時間帯が多かった。

- ・ 事故報告 28 件
- ・ ヒヤリハット 128 件

3. 利用者処遇の充実の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況 (当該年度 3 月 31 日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	12	0	第 1 木曜	○・無	施設長・ケアマネ・介護係長・各ユニットリーダー・看護師・管理栄養士・生活相談員、機能訓練指導員
ケース会議	36	0	随時		ケアマネ・居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・生活相談員
入所判定会議	12	0	第 1 木曜		運営会議に同じ
職員全体会議	11	0	第 3 木曜		全職員

(2) 機能訓練実施状況

①生活上機能訓練

【生活リハビリ】	一連の食事行為練習	: 毎日	13 名
	一連の整容行為練習	: 毎日	1 名
	一連の排泄行為練習	: 毎日	1 名
	姿勢変換保持練習	: 毎日	2 名
	言語機能訓練	: 毎日	1 名
	摂食嚥下機能訓練	: 毎日	4 名
	構音機能訓練	: 毎日	1 名

起居・移乗動作練習 : 毎日 3名
 歩行・移動練習 : 毎日 1名

【作業リハビリ】洗濯物たたみ : 毎日 1名
 書字練習 : 毎日 1名

②運動機能訓練

【運動器リハビリ】関節可動域訓練 : 適宜 5名
 歩行・移動練習 : 適宜 9名
 起居・移乗動作練習 : 適宜 2名
 筋力維持・増強訓練 : 適宜 2名
 姿勢変換保持練習 : 適宜 6名
 対人関係練習 : 適宜 3名

③その他

歯磨き・更衣等における日常生活関連動作の促し
 : 毎日 17名

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

①施設の体制について

- ・3ヵ月に一回全体会議にて、経過報告。
- ・虐待（の疑い）があった場合、口頭又は施設内に4か所の苦情受付箱を設置。
- ・担当者の名前を重要事項説明書に明記。
- ・第三者委員を含めた苦情相談窓口の掲示。

②虐待防止に向けた施設での取り組みについて

- ・虐待の芽を早期発見に努める。
- ・不適切なケアと思われるケアを職員が認識することが重要。
 →職員自身が気づく、模範となる対応の「素敵ケア」と、疑問に思う「はてな？ケア」を全体会議にて発表。職員の技術向上、質の向上を図る。

③虐待の芽を早期に発見する為の具体的な取り組みについて

- ・毎月のカンファレンス時に、ケアに関する困りごとについて各々の対処法を共有し、方向性を統一。職員の前向きな気持ちや不安な気持ちも理解した上で、各専門職の意見を聞きつつ身体拘束をしないケアを実施。

(4) 嘱託医師の回診の状況

週1回水曜日の午前に昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。

往診内容：入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様及び、ご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、年1回の健康診断、ワクチン予防接種、看取りの方等の死亡確認。
 往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医に速やかに報告、指示のもと対応。

(5) 食事の状況

・食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

・食費

朝食、昼食、夕食 = 1,445 円 (減額有) おやつ = 100 円

・食事形態

(在籍者数 29 人 当該年度 3 月 31 日現在)

常食	刻みトロミ	ムース食	ミキサー食	経管栄養	メイバランス・ソフトゼリーのみ
13 人	10 人	1 人	3 人	0 人	2 人

・代替食

各入居者の好み等により個別に対応 (ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等)

・栄養年報 (※経管栄養の方を除く)

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,666Kcal	64.7g	46.8g	650mg	7.0g
給与栄養量	1,558Kcal	57.5g	46.6g	632mg	7.3g

(6) 入浴の状況

(当該年度 年間実績)

区分 \ 入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
延べ入浴者数	0 人	1,081 人	1,282 人
1 人当たり週回数	週 回	週 2 回	週 2 回
実施 (曜日)	実施日無し	月～土曜日	月～土曜日
入浴時間帯	時 分 ～ 時 分	09 時 00 分 ～16 時 00 分	09 時 00 分 ～16 時 00 分
介護員数	0 人	2 人	1 人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理由
無	無	無	特になし

(8) 行事・ボランティア活動 (当該年度 年間実績)

月	活動内容
4月	昴庭お花見、お誕生会
5月	お誕生会、いなり寿司の提供
6月	お誕生会
7月	納涼会
8月	お誕生会
9月	敬老会
10月	収穫祭
11月	お誕生会
12月	クリスマスパーティ
1月	お誕生会
2月	お誕生会、生寿司提供
3月	お誕生会、お茶会

*その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。感染状況を見て対策を行いながら、施設全体の行事を実施。

(9) 防災訓練実施の状況

①火元責任者自主検査チェック表

全職員に向け担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月実施。

9月・3月には追加で「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックも実施。

また、令和4年度の新入職の職員、新規担当者を対象に説明会も実施。

②避難訓練

9月14日と3月15日に実施。

3月の避難訓練では、地震での建物倒壊を想定した避難訓練を実施。

また、簡易担架を用いて階段の降下訓練も実施した。

避難訓練当日、男性職員がいたことからスムーズに降下避難を行う事ができたが、実際の地震発生時はどのように2階の入居者様を安全に降下避難するか課題である。

(10) 運営推進会議の状況

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員）、地域包括支援センター、かめだ本町の里代表者、御利用者様代表、御家族様代表、第三者委員（元大学教授）、当該事業知見者、当該施設代表（施設長）、当該施設職員（生活相談員、介護係長）

内 容：利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）
 事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告
 サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言
 その他 前回懸案事項についての報告・回答

*当該年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催が未開催。状況報告を含め、資料にて意見等を聴取した。

4. 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	① ・ 無	
受付けた苦情内容及び解決結果の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	① ・ 無		① ・ 無	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

① 要望件数 1 件

【内容】 夜間帯、ベッド上でパット対応している方より「夜間もトイレ誘導してほしい」と要望あり。

【対応】 薬副作用等の兼ね合いよりパット交換を実施。ご本人様へ「身体の状態を見て出来る限り誘導させて頂きたい」旨を説明。

② 苦情件数 2 件

【内容】 入居者より用事があるも直ぐに、対応してもらえずに待たされた。

【対応】 対応が遅れた理由を説明。予め、ご本人様の用事・行動等の生活リズムが把握出来るよう職員で共有する。

【内容】 請求書発送時に郵便物も一緒に郵送。ご家族様より、「郵便物の一部が到着日までに返信しなければならない物だった。大事かと思われる郵便物は、一報ください」と。

【対応】 即、謝罪する。今後の対策として、郵便物の確認は事務員→所長→生活相談員の順とし、相談員からご家族様へ連絡することとする。

5. 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

(当該年度 年間実績)

・ 短期入所生活介護の概要（空床型）

特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院や退所などで長期に渡り空床が生じた場合、短期入所生活介護として要支援1から要介護5の方を対象にご利用頂くことが可能。

・年間実績

2名利用。うち1名は、体力低下著明、食事摂取量低下で在宅での介護困難のため利用されそのまま入所。他1名は入所が決まっていたものの、ご本人様の希望によりお試しで2泊3日利用、1週間後に入所。

・問題点

ご希望の利用期間と空床が一致せず利用に至らないケースが多い。また、ご本人様とご家族様の意向が合致していない状況あり、利用に至らないケースがあった。

・対応策

病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と空床状況を共有。担当区域の新潟市地域包括センター山潟との連携を図る。

6. 待機者の状況

(当該年度 3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数(人)	1	2	9	7	2	21

*ケアマネージャーの紹介、既存入居者様のご家族様の紹介等、口コミでの入所申し込みがあった。また、営業先で直接ご紹介して頂き、申し込みとなるケースもあった。

7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一木曜	◎有・無	施設長・看護師・相談員・ケアマネージャー・管理栄養士・各ユニットリーダー
職員全体会議	11	0	第三木曜	◎有・無	施設長・看護師・相談員・ケアマネージャー・管理栄養士・各ユニットリーダー・介護職員
ユニット会議	5	0	不定期	◎有・無	各ユニット職員
各委員会会議	35	0	各委員会定例日	◎有・無	委員会責任者・各委員長各ユニット担当職員

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

令和4年度 研修実績					
	主催	研修名	実施年月日	参加者	備考
内部研修	研修委員会・災害対策委員会	コロナ感染症予防対策	随時(4月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		プライバシー保護	随時(5月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		倫理及び法令順守	随時(7月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		認知症ケア リンクマネジメント	随時(8月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		身体拘束防止	随時(9月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		モチベーションマネジメント	随時(12月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		メンタルヘルス	随時(2月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		虐待防止の基礎	随時(3月)	全職員	e-ケアラボ(株) ツクイ
		感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	随時	看護師 栄養士	e-ケアラボ(株) ツクイ
	施設内勉強会	コロナウイルス感染症対策 実地研修(月ユニット)	1月	全職員 (ユニット)	感染対策委員会
		コロナウイルス感染症対策 実地研修(雪ユニット)	2月	全職員 (ユニット)	感染対策委員会
		コロナウイルス感染症対策 実地研修(花ユニット)	3月	全職員 (ユニット)	感染対策委員会
	外部研修	研修センター	チームビルディング研修	6月	山田亮輔
業務改善研修			7月	増田明誉	社会福祉協議会主催
認定調査員研修			7月	泉由布子	社会福祉協議会主催
フィジカルアセスメント			7月	大坂綾子	社会福祉協議会主催
相談面接技術研修			7月	小原貴子	社会福祉協議会主催
グリーンケア			10月	白井恭子	看護協会主催
看取りケア			12月	並木瞭	社会福祉協議会主催

*コロナ禍により社会福祉協議会主催の研修に併せて、ウェビナーや株式会社ツクイから提供されるe-ケアラボを使用し研修を実施した。

8. 建物・設備等の保守点検の状況

(当該年度 年間実績)

危険箇所・損傷箇所	具体的な状況	今後の対応
4月 ナースコール	動作不能	新品購入。
4月 洗面台電気温水器	お湯が出ない	業者より減圧弁修理
5月 居室ベッド	昇降が不可能。	点検結果、劣化による故障で新品と交換。
5月 ガス配管	地盤沈下によりガス配管が歪曲あり	エネサンス新潟より配管工事施行。
6月 L字バー	可動部位の破損、ベッドへの差し込み部分の破損等。	新品購入。
6月 厨房屋外排水管	破損	業者より排水管修理施行
6月 月ユニットエアコン	異音	点検結果、ラインフローファンの故障。新品と交換。
7月 インカム	エラー表示が続き、使用不可能。	メーカー問い合わせ、修理不可能により購入。
8月 浴室用たちアップ	床接地面の剥がれ、手すり部分のひび割れ等の劣化あり。	点検結果、劣化により新品と交換。
9月 特殊浴槽の温度表示	特殊浴槽の温度表示メーターが一部点灯しない。	点検結果、ケーブル内の断線により交換。
10月 オープン	オープンの電源スイッチが入らず使用不可。	点検結果、劣化により基盤交換。
10月 非常階段の電気錠	動作不能	業者より修理
10月 厨房殺菌庫	殺菌灯の点灯不能	業者より電灯交換。
10月 職員トイレ換気扇	動作時に異音あり	業者より換気扇ユニット交換。
10月 浴室スライドチェア	動作不能	業者より修理。
10月 浴室乾燥機	動作不能	業者より修理。
11月 月ユニットエアコン	動作不能	点検結果、室外機の基盤故障。新品と交換。

9. その他の報告事項

- ・令和4年10月入居者5名、介護職員5名新型コロナウイルスに感染。
全職員、全入居者様抗原検査実施。その後、徹底した感染予防対策を実施し、他ユニットへの感染拡大や重症悪化による入院や死亡に至ることなく収束。
- ・令和3年11月利用分より利用料の滞納が続いた入居者様に対し、令和4年9月に少額訴訟手続きを行う。令和4年10月より2か月に一度、5回に分けて分割にて支払うことを条件に和解。当該年度末時点で、10月、12月、2月の支払いあり。